



使命感あふれるミセスの環境意識 20代は低い水準

家電リサイクル法に続き、この10月からは、フロン回収破壊法によりカーエアコンのフロン処分費用も消費者持ちとなる。環境問題は待ったなしという状況を迎えているが、ミセスの意識はどうか。環境問題への関心を聞くと、年代別には温度差があった。「大いにある」という回答では、年代を追うごとに関心度が高まる傾向だ。図は、リサイクルで日常的に実行していることについて、全体と20代、60代を比較したもの(30代～50代は、ほぼ全体と等しい)。20代は、いずれの項目でも、全体の値より下回った。逆に60歳以上は、ほとんどの項目で高い水準の度数だった。特に「ゴミを減らす」人は、全体よりも20%、20代と比べると30%も高い値を示している。知識から入る若い世代の暮らし意識とは違い、「戦中・戦後からずっと“ものを大切に”することが当たり前の暮らしをしているので」(伊丹市、71)というマインドも手伝ってか、積極的に環境行動を取っていることがわかる。

調査概要

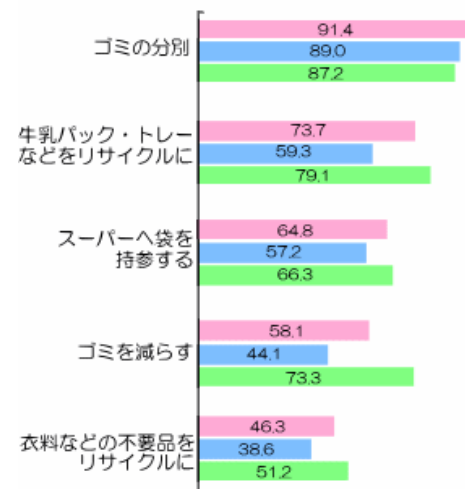
- 2002年7月27日付、リビング新聞(大阪・神戸圏11エリア)紙面掲載アンケートから。回答860件を集計
- 年齢構成 = 20代16.9% 30代32.3% 40代20.1% 50代20.7% 60歳以上10.0%

< 調査項目 >

- 1.リサイクル・環境問題に関心があるか (年代別)(エリア別)
- 2.リサイクルで日常実行していること (年代別)(エリア別)(関心度別)
- 3.家電リサイクル法施行後、処分した対象商品 (年代別)
- 4.処分方法 (年代別)
- 5.カーエアコンのフロン回収破壊法の認知度 (年代別)(関心度別)
- 6.環境問題で気になること (年代別)(エリア別)(関心度別)
- 7.環境問題の情報媒体 (年代別)(エリア別)(関心度別)

リサイクルで日常実行していること (%)
※複数回答

■ 全体 N=859 ■ 20代 N=145 ■ 60代 N=86



リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

【問い合わせ】 TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430